



文化芸術の花 咲いわたり
美ら島おきなわ文化祭2022

「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」

太鼓の祭典

あけみおのまちに響く! ちむドンドン!



【日 時】2022年 **11月6日(日)** 【開場】10:00 【開演】10:30

【会 場】**名護市民会館**

〒905-0014 沖縄県名護市港二丁目1番1号

主 催：文化庁／厚生労働省／沖縄県／沖縄県教育委員会／名護市／
名護市教育委員会／美ら島おきなわ文化祭2022沖縄県実行委員会／
美ら島おきなわ文化祭2022名護市実行委員会／



主 管：日本太鼓財団沖縄県支部

特別協力：Supported by  **日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION**

※会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。



名護市公認キャラクタ
名護親方(なごうえかた)



ご挨拶

文部科学大臣

永岡桂子

第37回国民文化祭が、10月22日から11月27日までの37日間にわたり、新型コロナウイルス感染拡大対策が徹底される中、沖縄県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で37回目を迎えます。

今回開催地となる、亜熱帯の美しい海に囲まれた沖縄県は、東アジア有数の交易国家として栄えた琉球王国の時代から、日本、中国、東南アジアなどの文化を巧みに融合させ、独自の文化を成熟させてきました。時代の移り変わりの中で絶えず継承され、新しい感性の彩りが加えられてきた沖縄県の文化は、「チャンプルー文化」ともいわれるほど多様性を内包していることが特徴的です。

本大会に参加される皆様には、このような沖縄県の文化の奥深さや自然の醍醐味を肌で感じていただき、本大会のテーマである「文化芸術の花 咲いわたし」のとおり、皆様の文化芸術活動ひとつひとつが多様で魅力あふれる花を咲かせ、国内外に向けて大きな感動を発信する大会となることを心から祈念しております。

また、本大会は、「美ら島おきなわ文化祭2022」として、第22回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

文部科学省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を踏まえ、「日本の美」を国内外に発信してきた「日本博」をさらに強化し、2025年大阪・関西万博に向けて「日本博2.0」として展開してまいります。今後とも、地方創生や観光等の関連分野とも連携しながら、文化行政を総合的に推進し、文化による本質的・社会的・経済的価値の創出を強力に実行することによって、「文化芸術立国」の実現に取り組んでまいります。

結びに、新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされる中で、開催に当たり格別の御尽力をいただきました沖縄県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。



ご挨拶

厚生労働大臣

加藤 勝 信

「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。沖縄県での開催は、平成18年度に次いで2回目の開催となり、「第37回国民文化祭」及び「第22回全国障害者芸術・文化祭」の一体開催としては本年度が初めてとなります。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解を深めることにより、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。国民文化祭との一体的な開催により、障害の有無に関わらず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながることを祈念しております。

沖縄県の本土復帰50周年という大きな節目を迎えた年に開催する本大会は、「文化芸術の花 咲いわり」をテーマに、多様な文化を育んできた沖縄県を舞台に開催される文化・芸術の祭典です。このうち、「ちむぐくる（真心）ゆい（結）フェスタ」においては、障害のある方々が制作した作品を展示する全国アート作品展や、障害の有無にかかわらず一緒に参加して楽しむ造形ワークショップ、音楽・舞踊・演劇等、様々なイベントが開催されます。この機会に、多くの方に障害のある方々の魅力ある作品に触れて楽しんでいただくとともに、障害のある方自身の活躍の場が一層広がっていくことを期待しております。

あわせて、厚生労働省では、本大会と連携し全国各地で障害者芸術・文化イベントを行う「サテライト開催事業」の開催を通じて、沖縄県の芸術・文化の魅力を全国に伝えていくこととしております。

また、引き続き、都道府県の「障害者芸術文化活動支援センター」設置の支援を進め、人材育成や関係者のネットワークづくり等を通じて、障害のある方の芸術文化活動の全国的な振興を図ってまいります。

結びに、本大会の開催に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策への御配慮等も含め、御格別の御尽力をいただきました沖縄県、開催市町村、芸術文化団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げて、私からの挨拶といたします。

太鼓の祭典



ご挨拶

第37回国民文化祭沖縄県実行委員会
第22回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
会長 沖縄県知事

玉 城 デ ニ ー

「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」を統一名称「美ら島おきなわ文化祭2022」として、日本復帰50周年の節目の年に沖縄県で開催できますことは誠に喜ばしいことであり、県民を含め、全国各地、海外から沖縄大会に御参加いただく皆様を心より歓迎いたします。

沖縄は、東西1,000km、南北400kmの広大な海域に大小160の島々が点在する全国でも有数の島しょ県であり、亜熱帯の海に囲まれた美しい島々は、その自然環境と風土、地域に根差した個性豊かで多様な文化の魅力に溢れています。

さらに、沖縄は、古来、諸外国等との交流を通じて多様な文化と触れ合い、沖縄の精神的、文化的風土と融合させることで独特の文化を育み、伝統文化の多くは琉球王国時代に大きく花開きました。その後、琉球王国から沖縄県となり、沖縄戦を経たのち27年間のアメリカ統治を経験し、昭和47年に日本へと復帰するなど、沖縄の文化は様々な世替わりを経験する中で、困難な状況におかれても多様な彩を加えながら形成されてきました。加えて、移民県である沖縄の文化は、今日、世界中で花開いています。

沖縄大会では、こうした歴史の中で育まれた沖縄の文化芸術が花開き、より多くの人に知れ渡り、その美しさに触れてほしいという願いをこめた「文化芸術の花 咲いわたり」を大会テーマに揚げ、10月22日から11月27日の37日間にわたり、文化芸術に関する沖縄県内各市町村の特色を活かした様々なイベント、また、全国の文化団体の皆様と連携した様々なイベントが開催されます。

ぜひこの機会に、沖縄文化の魅力を存分に堪能していただくとともに、多彩な文化芸術に触れ、感動と喜びを共に分かち合っていただきたいと思いますと考えております。

また、障害のある方もない方も、子どもから御年配の方まで、より多くの方々が沖縄県内各地で開催される各イベントに参加され、様々な交流を通じて相互理解を深め、誰一人取り残さない共生社会の実現に繋がっていく大会となることを期待しております。

沖縄の経験がそうであるように、文化は人々に困難を乗り越える勇気を与え、心の拠り所となる「ぬちぐすい（命の薬）」だと思います。沖縄大会がコロナ禍のような困難な状況下にある方々に、勇気や希望を与えるものとなることを切に願っております。

結びに、首里城復興に際し国内外から多くの御支援をいただいていることに感謝申し上げますとともに、「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催に格別の御尽力と御支援をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、挨拶いたします。



ご挨拶

美ら島おきなわ文化祭2022名護市実行委員会
会長 名護市長

渡 具 知 武 豊

「文化芸術の花 咲いわり」を大会テーマに、「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」、統一名称として「美ら島おきなわ文化祭2022」の分野別フェスティバルとなる「太鼓の祭典」が名護市で開催できますことは、このうえない喜びであります。

全国各地から遠路はるばるお越しの皆様、ようこそ「あけみおのまち」名護市へお越しくださいました。市民を代表し、心から歓迎を申し上げます。

名護市は沖縄本島北部に位置する中核都市であり、市の三方を囲む青々とした海と緑深い山々に抱かれた山紫水明の地にあります。その豊かな自然環境と風土の中で、各地域で大切に受け継がれてきた文化遺産や芸能など、多様な文化が根付いており、自然、文化ともに魅力溢れるまちです。

「美ら島おきなわ文化祭2022」は、全国各地で日頃から取り組まれている様々な文化活動について、障がいの有無に関わらず、発表、共演、交流する一大イベントであります。

本イベントを通して、全国から御参加いただく皆様と共に、地域や分野を問わず感動と喜びを分かち合い、一人ひとりが文化芸術の担い手として多様性を尊重し、文化芸術の継承と発展、発信に取り組む社会を目指してまいります。

名護市では、全国の文化団体の皆様と連携したイベントや市内の芸術文化団体の特色を活かした市民参加型イベント等を含む8つの分野別フェスティバルが開催されます。昨年度から、新型コロナウイルス感染症の影響に翻弄されながらも、沖縄県実行委員会や関係団体等の皆様と連携を図り、最高のおもてなしを創り上げようと意欲的に取り組んで参りました。

本日の公演では、日本太鼓財団沖縄県支部合同チームが、沖縄文化の特色を醸し出す魅力あふれる和太鼓でオープニングを飾っていただくとともに、全国各地で継承、保存されてきた特色ある太鼓の演武が一堂に集い、勇壮で躍動感あふれるパフォーマンスでご来場の皆様に「ちむドンドン」させるものと確信しております。

お越しいただいた皆様には、「美ら島おきなわ文化祭2022」を存分に楽しんでいただくことはもちろんのこと、ぜひこの機会に本市の歴史や文化遺産、そして観光・食文化にも触れていただき、名護市の魅力を心ゆくまでご堪能いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本文化祭の開催にあたり、御支援、御協力いただきました文化庁、厚生労働省、沖縄県、公益財団法人日本太鼓財団、日本太鼓財団沖縄県支部、開催市町村など関係する多くの皆様に深く感謝申し上げまして、私の挨拶といたします。

太鼓の祭典



ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
理事長

大澤 和彦

美ら島おきなわ文化祭2022 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「太鼓の祭典」を、名護市において盛大に開催できますことは誠に喜ばしいことであり、ご来場いただきました皆さまには心より歓迎申し上げます。

日本の太鼓は、太鼓に向かう真摯な態度や団体演奏に必要なチームワークの大切さから「礼と節」が備わることを評価され、青少年の健全育成に大きな効果をあげております。さらに全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害者の療育に効用があることが立証されており、健常者のみならず障害者の太鼓団体も増加しております。年齢層は幼年の子供から高齢者までと幅広く、女性の参加も増えていることから、太鼓愛好者はまさに老若男女に広がっています。

当財団は、新型コロナウイルスの対策として、2020年9月に臨床感染制御学専門家等の立ち会いのもと「太鼓演奏における演奏者の飛沫飛散状況」の検証を行い、その検証結果に基づく「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定いたしました。このガイドラインに基づく感染予防対策を講じながら、本事業はもちろんのこと、今後も各種事業を実施してまいります。

本日出演する演奏者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベント中止や練習施設の使用制限など、多くの制限がある中、皆さまの前で演奏を披露することができるこの機会を楽しみに、今日まで練習を重ねてきました。ご来場の皆さまには、感染予防の観点から不便をおかけいたしますが、各団体の特色あふれる演奏を最後までごゆっくりお楽しみいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

本祭典の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、沖縄県、沖縄県教育委員会、名護市、名護市教育委員会、美ら島おきなわ文化祭2022沖縄県実行委員会、美ら島おきなわ文化祭2022名護市実行委員会、そして当財団が多大なご支援をいただいております日本財団ならびにボートレース関係者、主管の日本太鼓財団沖縄県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



ご挨拶

日本太鼓財団沖縄県支部
支部長

金城 一文

芸術文化の香り溢れる季節に、全国各地から多くの皆様を「文化薫るあけみおのまち」名護市へお迎えし、美ら島おきなわ文化祭2022「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」の分野別フェスティバルとして「太鼓の祭典」が華やかに開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、本公演にご参加いただく皆様に心から歓迎いたします。

沖縄県支部と致しましては、ここ地元、沖縄県で「太鼓の祭典」が開催される事を心待ちにし、全国各地で活躍する実力ある太鼓団体の皆様と共に響演できることを楽しみに、日々練習に励んで参りました。全国各地の特色ある太鼓の持つ「力・活力・魅力」をここ沖縄から世界へそして未来へ発信していきたいと期待を胸に膨らませていきます。

太鼓は、縄文時代（紀元前1万3000年～紀元前300年）に縄文式土器に皮をかぶせ、ひもで巻き固定したものを叩いたものが太鼓の始まりといわれています。現在においては、お祭りのお囃子や神楽、歌舞伎などの伴奏楽器として使われ、八丈島や北陸の一部では伝統的に娯楽として太鼓を楽しむ地域もありましたが、ほとんどの地域では太鼓は特別な時にのみ打たれる神聖なものとして位置づけられていました。

沖縄県においては、太鼓と言えば、旧盆の最終日（旧暦7月15日）に行われる祖先をあの世へ送り出す念仏踊りで、若者たちが歌と囃子に合わせ、太鼓を持ち踊りながら地区の道を練り歩くエイサーが主流ですが、近年では和太鼓の団体も多く見受けられます。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により「心の豊かさ」が一層求められる文化の時代と言われ、心豊かで活力ある地域づくりを進めていく上からも、文化の果たす役割が今後ますます重要になってきます。本文化祭の「太鼓の祭典」においては、全国より25団体、海外より台湾からの参加と演奏者の一糸乱れぬ響演をご披露し、ご来場頂いた皆様がちむドンドン（※沖縄方言で胸がワクワクする気持ちを表す）し公演を機に多くの皆様に勇気づけるメッセージとなればと思います。

結びに、本祭典の開催にあたり、格別なご尽力頂きました多くの関係団体、運営に携わって頂きました関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

太鼓の祭典

美ら島おきなわ文化祭2022
第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭

「太鼓の祭典」
プログラム

Churashima Okinawa Cultural Festival 2022
The 37th National Cultural Festival
The 22nd National Arts and Culture Festival for Persons with Disabilities
“Taiko Festival”

オープニング 10:30

日本太鼓財団沖縄県支部合同チーム 沖縄県 10
Nippon Taiko Foundation Okinawa Chapter Joint Team from Okinawa

[主催者挨拶] 沖縄県知事 玉城 デニー
名護市長 渡具知 武豊
公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義
日本太鼓財団 沖縄県支部 支部長 金城 一文

第一部

1. 華音 神奈川県 10
Kaon from Kanagawa
2. 御璃刃 三重県 11
Origin from Mie
3. 盛岡さんさ踊り清流 岩手県 11
Morioka Sansa Odori Seiryu from Iwate
4. 開成水神雷太鼓保存会 神奈川県 12
Kaisei Suijin Kaminari Taiko from Kanagawa
5. 和太鼓サスケ 石川県 12
Sasuke from Ishikawa
6. 宇都宮和太鼓衆 阿・吟 栃木県 13
Utsunomiya Wadaiko-shu Aun from Tochigi
7. 總管太鼓同志会 舞葵琉太鼓 嘉手納町連合青年会 沖縄県 13
嘉手納町東区獅子舞保存会
Sokan Taiko, Maiki-ryu Taiko, Kadena Rengo Seinen-kai, and Kadena Higashi-ku Shishimai from Okinawa
8. 甲斐乃和太鼓心響会 山梨県 14
Kai-no-Wadaiko “Shinkyo-kai” from Yamanashi
9. 大崎なごり会 広島県 14
Osaki Nagori-kai from Hiroshima
10. 打吹童子ばやし 鳥取県 15
Utsubuki Doji Hayashi from Tottori
11. 福岡大学和太鼓部「鼓舞猿」 福岡県 15
Fukuoka University Taiko Club “Kobuzaru” from Fukuoka

第二部

12. 琉球風車 Ryukyu Kajimaya from Okinawa	沖縄県	16
13. 和太鼓一座 天響 Wadaiko Ichi-za Tenkyo from Miyazaki	宮崎県	16
14. 糸島二丈絆太鼓 Itoshima Nijo Kizuna Taiko from Fukuoka	福岡県	17
15. 創作和太鼓集団みのり太鼓 Minori Taiko from Ibaraki	茨城県	17
16. 広島文教大学和太鼓部「文教太鼓 仁」 Hiroshima Bunkyo University Taiko Club “Bunkyo Taiko Jin” from Hiroshima	広島県	18
17. 志賀豊年力太鼓保存会 Shika Honen Riki Taiko from Ishikawa	石川県	18
18. 大和太鼓保存会 Yamato Taiko from Saga	佐賀県	19
19. 大治太鼓保存会 Oharu Taiko from Aichi	愛知県	19
20. 台湾源流打々 Taiwan Taiko Association Joint Team from Taiwan	台湾	20
21. 名護桜太鼓 Nago Sakura Taiko from Okinawa	沖縄県	20

第三部

ゲスト団体

22. 橘太鼓「響座」 Tachibana Taiko “Hibikiza” from Miyazaki	宮崎県	21
23. 御諏訪太鼓保存会 Osuwa Taiko from Nagano	長野県	21
24. 和太鼓たぎり Wadaiko Tagiri from Fukuoka	福岡県	22
25. 御陣乗太鼓保存会 Gojinjo Taiko from Ishikawa	石川県	22
26. 豊の国ゆふいん源流太鼓 Yufuin Genryu Taiko from Oita	大分県	23

※上記は2022年10月時点で出演可能な団体です。新型コロナウイルス感染の影響等で変更になる可能性があります。

太鼓の祭典

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、ご配慮ください。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
- 演奏観覧中も常時マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
- 会場内では対面、大声での会話はお控えください。観覧中は声援などの声出しはせず拍手のみでお願いします。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。
- 感染が疑われる方はご退場いただき、かかりつけ医や保健所に相談してください。イベント参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催（日本太鼓財団）に必ずご連絡ください。万が一、イベント開催後2週間以内にご来場者様の中から陽性と診断された方がいるという報告が主催へあった場合は、速やかに日本太鼓財団公式サイトにて情報を公開します。

日本太鼓財団公式サイト <https://www.nippon-taiko.or.jp>

にっ ぽん たい こ ざい だん おき なわ けん し ぶ ごう どう

日本太鼓財団沖縄県支部合同チーム 沖縄県



演奏曲

かりゆし

うるま鼓舞太鼓
総管太鼓
名護桜太鼓
舞葵琉太鼓

日本太鼓財団の沖縄県支部は、2013年に結成記念イベントを皮切りに、県内で活動経歴の長い名護桜太鼓や総管太鼓が中心となって、交流会やそれぞれが企画する公演に出演やサポート等の活動を行なってきました。

ずっと目標としてきた、合同チームや合同曲の取り組みについて、今回の舞台を通してついに実現できたことを大変嬉しく思います。

古くからエイサー文化のある沖縄において和太鼓の歴史はまだ浅く、今回遠くよりお越し頂いた出演団体の皆様の演奏をたくさんの県民に見ていただくことで、心身に響く迫力ある音や和太鼓ならではの魅力を感じていただき、県内での和太鼓文化の更なる普及と活性化につながってほしいと願っております。

1 華 音

神奈川県



演奏曲

は てん こう 破天荒

代表者：渡邊 晃伸

佐野 智子／毛塚さおり
好田知佐子／重田ちさと
境 江里子／江下 佳子
柴戸 歩／五十嵐英里
竹井 文華／祝 知栄美
石上 繁／茂木 柚奈
武田麻由奈／佐藤 昌宏
石上 紋奈／横井亜希子
本田 凌大

華音は神奈川県横浜を中心に活動しています。

2006年に横浜で活動を開始した華音は仕事をしながら太鼓を楽しみたいと神奈川県の横浜で活動しています。

主婦を中心とした和太鼓のサークルです。華やかで天をも貫くような音色で太鼓の演奏をしたいと活動しています。20名ほどのメンバーで構成されておりますが、これまでにはコンテストへの挑戦やコンサートなどの企画をはじめたくさんの太鼓イベントに参加してきました。

太鼓が大好きなメンバーと渾身の力で演奏をしたいと思っています。

2 おりじん 御璃刃

三重県



演奏曲

ほこり
誇

代表者：神谷 敏志

中西隆一郎／庄子 和彦

鈴木 貴博／南条 泰正

私たち御璃刃は、三重県四日市市で活動する社会人チームです。地元のお祭りや施設等への慰問、近年は県外にも活動の場を広げてきました。メンバーは高校の同級生を中心に構成されており、気心の知れた仲間と行う息の合った演奏が自分達の長所です。演奏曲もチームで作曲したものを使用しており、どの曲も愛着のある曲ばかりですが、本日はその中でも御璃刃らしさの強い「誇」と言う曲を披露させていただきます。国民文化祭・太鼓の祭典での演奏は初めてですので大変緊張しておりますがその緊張も力に変えて精一杯演奏致します。よろしくおねがいいたします。

3 もり おか おど せい りゅう 盛岡さんさ踊り清流

岩手県



演奏曲

長者の山／二拍子／キツキエカツコ／
神楽くずし／よしゃれくずし
はやし舞くずし／セタクずし／礼踊り

代表者：関口 みどり

佐藤 明香／千葉愛由美

畠山 智美／藤澤 華怜

藤澤 昌子／藤村 未来

藤原 桃子／佛川 直也

吉田光次郎／羽柴 麗恵

皆川 亜紀／梅澤 由香

さんさ踊りは岩手県盛岡市に古くから伝わる郷土芸能であり、毎年8月1日～4日まで開催される「盛岡さんさ踊り」は岩手県を代表する祭りです。太鼓の打ち手も踊り手と一緒に踊りながら太鼓を叩くのが特徴で、和太鼓同時演奏世界一の記録を持つ。藩政時代から盆踊りとして踊り継がれており、地域によって踊り方やテンポが異なります。「盛岡さんさ踊り清流」が継承する踊りは盛岡市猪去地区に伝わる踊りで、テンポが速く、小廻りと呼ばれるくるくると回転する振りが多く、腰を低く落とす、上下動の多い踊りです。また太鼓の打ち手は、撥を頭上で半回転させる他地域には見られない撥返しを特徴としています。（盛岡市無形民俗文化財指定）

4

かい せい すい じん かみなり だい こ ほ ぞん かい

開成水神雷太鼓保存会

神奈川県



演奏曲

うたげ ひびき
宴／響 ～ Pray To Earth
だい ち いの
(大地に祈る) part2

代表者：石井 菊義

鳥海 仁史／村井千賀子

松沼 裕恭／松沼寿美子

露木 和也／千葉 浩之

角田 大地

神奈川県一小さい町、開成町を拠点に活動している創作太鼓チームです。平成2年度の開成町のふるさと芸能起し事業で、音楽家寺内タケシさんの作曲により、新しく、太鼓曲「開成水神雷太鼓」が創作され、郷土芸能として未来に向かって保存することを目的に開成水神雷太鼓保存会が結成されました。開成町東側を流れる酒匂川や足柄平野の風土をテーマにした太鼓曲や、動きのある桶胴太鼓の曲を主な演奏曲としています。活動実績としては神奈川県親善大使としてマレーシアペナン島での海外公演や、県内外の太鼓フェスティバルへ参加しています。主たる活動は、地元開成あじさい祭や小田原ちようちん祭りを始めとしたお祭り施設での演奏を行っています。

5

わ だい こ

和太鼓サスケ

石川県



演奏曲

やま な むし おく
山鳴り／虫送り

代表者：石塚 拓矢

須谷羽加葉／薮田 栞奈

加嶋 虹春／横内 杏美

鶴垣 結愛／山田 美虹

谷口 歩／川口 詩月

太田 幸介／寺田 智英

和太鼓サスケは、2003年、石川県内の青少年健全育成を目的として発足し、元気いっぱいの少年をイメージさせる「サスケ」と命名。現在は小学校5年生から高校3年生までのメンバーで活動しており、太鼓技術の向上のほか、礼儀作法等も日々の練習・舞台で学んでいます。

近年の主な出演は、第33回国宝松本城太鼓まつり（長野県）、第36回国民文化祭 太鼓の祭典（和歌山県）、金沢百万石まつり（石川県）、白山国際太鼓エクスタジア（石川県）など石川県内外の大きな舞台でも演奏させていただいている他に、今年6月には、地元の石川県白山市にて単独コンサートを実施しました。昨年に引き続き2回目の国民文化祭での演奏です。今回も力強い演奏をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

6 宇都宮 和太鼓衆 阿・吽 栃木県



演奏曲

がんでん いかつち あっぱれ

丸天 / 雷槌 / 天晴

代表者：岡部 洋子

大越真知子 / 入江 篤志

佐藤 省吾 / 福島 拓丸

大貫奈津美

和太鼓衆 阿・吽も今年で9年目を迎えました。仲間も老若男女、年齢に関係なく日々汗を流しながら楽しく栃木県宇都宮市で和太鼓のお稽古をしています。

今日のメンバーも初めはバチも握った事も無く、もちろん太鼓も打ったこともありませんでした。皆様と同じ見て楽しんでいましたが、見ているうちに和太鼓の魅力に惹かれ、汗と涙と感動を伝えたく今ではステージに立って演奏させていただいています。

来年はお陰様で10周年を迎える事となり、地元『雷の都』宇都宮で『和太鼓衆阿・吽10周年記念』イベントを開催します。私共の地元栃木にも世界遺産『日光東照宮』が鎮座しています。ぜひ遊びにいらして下さい。

一同楽しみにお待ちしています。

7 総管太鼓同志会 舞葵琉太鼓 嘉手納町連合青年会 嘉手納町東区獅子舞保存会 沖縄県



演奏曲

しゅんらい ていだ
春雷 / 橙

代表者：友寄 まどか

友寄 鼓音 / 阿嘉 南

本永 貴子 / 金城 未来

山田 まや / 島袋 恵子

狩俣恵美理 / 東江 隆弥

与那覇朝成 / 照屋唯智佳

照屋 健一 / 津波 隆幸

我那覇太悟 / 小野 武

村山 拓水 / 古謝 脩也

比嘉 美咲 / 金城 康介

東江 隆也 / 仲村龍之介

岸本 正人

この度国民文化祭に出演するにあたり、嘉手納町に籍をおく総管太鼓同志会、嘉手納町連合青年会 白龍、嘉手納町東区獅子舞保存会、また、西原町舞葵琉太鼓の協力を得て、この素晴らしい文化祭に出演させていただくことになりました。

西原町舞葵琉太鼓と総管太鼓同志会とは姉妹太鼓の関係にあり、師を同じくしてお互いに切磋琢磨しながら、和太鼓をつづけてきました。

その中でこの度、嘉手納町連合青年会の白龍、嘉手納町東区獅子舞保存会の皆様の協力を得てこの舞台に立つことになりました。

沖縄の魅力を感じていただきたく、和太鼓と、白龍、獅子舞とのコラボレーションの素晴らしいステージを皆様におみせしたいとおもいます。

8

かい の わ だい こ しんきょうかい 甲斐乃和太鼓 心響会

山梨県



演奏曲

とき ね ひと
時の音は人と

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／齊藤 里恵
齊藤三輝成／狐塚 亮
山地 隆公／神田 弘樹
遠藤 大成

平成27年6月に立ち上げた「甲斐乃和太鼓 心響会」というまだまだ未熟のチームです。障害者と健常者がお互いに助け合い、チームワークを大事にしながら和太鼓のノーマライゼーションを目指して活動しております。チーム名のとおり聞く人たちの心に響くような太鼓が打てるようにと、日々練習に精を出しております。その心に響く太鼓を打てるのは果たしていつの日になるのかと、夢だけは大きく持って毎週土曜日の夜練習に励んでおります。只、新型コロナウイルス流行の為に、イベント等がほとんど中止されてしまい練習の成果を生かす場が無くなってしまったのが残念でなりません。一日も早い新型コロナの終息を願うばかりです。まだまだ未熟のチームですが全国の皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。

9

おお さき かい 大崎なごり会

広島県



演奏曲

みなとまちじゅうさんばんち れい わ おん ど
港町十三番地 / 令和音頭

代表者：鼻戸 節子

杉原 鉦子／金原 英香
後藤 洋子／岡田 浩子
渡辺 和枝／塩田美登里
小川 澄子／松浦 菊枝
高橋千恵子／井上 純子
小川 笑子／高谷 豊女
黄木 弥生／本岡 千春

私達「大崎なごり会」は、広島県の大崎上島町から来ました。発足33年目で会員は18名です。大崎上島町は、瀬戸内海のはほぼ中央に位置する人口七千人の離島の町です。島の最高峰の神峰山（かんのみね）の頂上からは、115の瀬戸内の島々を眺めることができ、多島美日本一を誇っています。また、『教育の島づくり』を町全体で推進しており、国立広島商船高専、広島淑智学園、県立大崎海星高校の島内の学校には全国各地から学生が集まり、島に活気をもたらしています。産業は、生産量日本一を誇るレモンをはじめとする柑橘栽培が盛んです。農家も高齢化していますが、若手の就農者も徐々に育成されており、今後の町の発展に期待が寄せられています。

10 打吹童子ばやし

鳥取県



演奏曲

こ だ ま く み き ょ く
鼓魂組曲

代表者：村田 速実

牧田 真旺／恩田優珠羽
石川 琳子／西谷 梨世
井上 心日／横田 陽南
澤村 日菜／柏村 陽向
中山 紗穂／脇坂 大星
澤村 若菜／中田 季助
市場 遥／長光 星空
石川 晶大／新田 恋結
木下 智貴／松原 蓮奈
柏村 華凛／森田 結花
岩山 華音／清水 結音

天女は子の幸せを祈り、子は母を想い太鼓と笛を打ち吹き鳴らす。

古くから打吹山を仰ぎ、その城下町として栄えた倉吉に伝わる天女と童子の伝説を「打吹童子ばやし」という形にして、子ども達の打つ吹く太鼓と笛の音で伝えていこうと、1992年7月に小学生和太鼓連として誕生しました。以来、地元倉吉はもとより県内外のたくさんのイベントで演奏しています。2013年には、中学生、高校生を中心とした和太鼓 LEGEN 童が創設され活動をスタートしました。

倉吉の夏祭り「打吹まつり」では、お祭り隊を編成して子どもたちのお囃子隊を載せた山車を巡行し、「ワッショイ！」と祭りの初日を盛り上げています。オリジナル曲は15曲あります。毎年3月には自主演奏会をしています。

今日は、打吹童子ばやしの代表曲を組曲にして、打吹童子ばやしと和太鼓 LEGEN 童で演奏します。どうぞお楽しみください。

一章：みつばしの夜に 二章：雷神 三章：夢童子 四章：望郷 五章：祭囃子 六章：飛翔の章

11 福岡大学 和太鼓部「鼓舞猿」 福岡県



演奏曲

らいしょう らくえん
雷衝／楽猿

代表者：財前 龍乃介

中島 葵衣／尾上歩侑美／佐々木 滯
松永 拓巳／安達穂乃香／末廣眞菜美
矢野 遥暉／原田 悠仁／幸田 優虎
吉田絵理花／久下 裕悟／壽田 南帆
田中 胤子／吉次 夏海／森脇 佑有
芹川きらら／森永 千尋／木内 翼
佐伯 顕宥／田中 康奨／河野 将真
畑中 優斗／吉田 帆花／宇都宮葉那
佐藤優里奈／池田 尚道／末廣 知子

皆さんこんにちは。福岡県からやって参りました、福岡大学和太鼓部「鼓舞猿」です。鼓舞猿は、創立18周年を迎えました。新型コロナウイルスの影響で、以前より演奏の数が減ってはいますが、有難い機会をいただき、この状況下でも、皆様の前で演奏できることに喜びを感じております。

今日は、ほとんどが3年生〈16代目〉のメンバーでお届けします。今月11月で3年生は引退となります。最後の県外演奏、張り切って、情熱をもって、皆様に元気と笑顔をお届けします！鼓舞猿の熱いパフォーマンスをぜひ一緒にお楽しみください！

12 琉球風車

沖縄県



演奏曲

仲順流り / 久高万寿主節 / 安里屋ユンタ / 守礼の島 / 唐船ドーイ

代表者：佐久原 琉也

大迫 泰成 / 津波 夢人 / 儀保亜結加
 桃原 花女 / 鉢嶺 咲乃 / 崎間 貴絵
 曾我 知史 / 渡久地 怜奈 / 伊敷 凌央
 山入端 天敏 / 宮城に じな / 新里 花野
 泉川 李佳子 / 仲程 悠人 / 永吉 哲也
 玉寄 愛梨 / 玉城 春菜 / 伊計 怜香
 浦崎 隼多 / 古謝 翼 / 赤嶺 涼香
 佐和田 美優 / 山川 純奈 / 東江 さくら
 高梨 三之助 / 東迎いのり / 崎原 結斗
 石川 立

私たち琉球風車は、沖縄国際大学の学生を中心に県内の学生や専門学生で構成されている伝統エイサー団体です。地域でのお祭りや福祉活動、多文化交流、さらに県内外遠征などを行っています。

今年は県内最大のエイサー祭りであるエイサー in 沖縄アリーナへ出演、第7回ウチナンチュ大会へ出場など数多くのイベントに出場させていただきました。今後も学生が受け継ぐ伝統芸能であるエイサーへの想いを沢山の人の手に届けるような活動をしていきたいと考えています。

今年は本土復帰50周年という沖縄県にとっても重要な節目の年に、この舞台で全国の方々へ向けて演舞出来る事に感謝し、学生ならではの笑顔と迫力のある演舞でエイサーの魅力を発信致します。

13 和太鼓一座 天響

宮崎県



演奏曲

大和一心

代表者：池田 靖洋

貴島 康弘 / 森尾 守
 貴島 大季 / 金丸 享里
 貴島 亜美

我々和太鼓一座天響は、平成14年結成。我々の信念は礼儀無き者太鼓を叩く資格無しという心構えで大人、子供関係なく太鼓に打ち込みチーム一丸となり、現在メンバー12名により、県内外にて活動しております。我々和太鼓一座天響は人の心に響きを与え、天まで響けという気持ちで聞かせる太鼓だけではなく、目で見えて楽しめ、皆様方と一体となり楽しめる太鼓を叩ける様、日々厳しい練習に励んでいます。

14 糸島二丈絆太鼓

福岡県



演奏曲

てん ち そうぞう だんしやう
天地創造 / 断章 II

代表者：田中 茂雄

桑原	光望	勝木	結菜
勝木	柊哉	埜渡	心乃
埜渡	悠乃	埜渡	隆志
櫻井	千紘	櫻井	奈々
有田	莉々香	有田	梨花
濱崎	勇輝	南坂	光里
山本	諭志	三丸	みのり
森園	心美	西	絆花
上林	山光喜	鏡	壮真
鏡	詩月		

糸島二丈絆太鼓は現在福岡県糸島市を中心に活動している太鼓集団です。平成15年4月に（社）糸島青年会議所青少年健全育成事業「絆太鼓」として結成され、平成17年より地域の子ども太鼓集団「二丈絆太鼓」として活動を行い、平成26年10月より糸島市観光大使に任命していただき、「糸島二丈絆太鼓」に再改名しました。

日本太鼓という伝統文化の継承を行いながらも、どのようにすれば子ども達が真剣に取り組む事が出来るかを考え続け実践しております。毎日の修練の発表の場をいただく事により、大きな達成感を得ることができ、自らが考え行動できるよう成長する事を大切な目標としています。

主な活動履歴としましてはソフトバンクホークス開幕戦2年連続出演、ラグビーワールドカップ選手入場アンセム演奏、ジュニアコンクール福岡県大会にて複数回の優勝、イタリア、フランス、ブルガリア、シンガポールでの演奏活動、そして地元糸島を中心としたイベントへの出演があります。

15 創作和太鼓集団 みのり太鼓

茨城県



演奏曲

そう だ
凄 打

代表者：篠原 孝司

小嶋	竜也	大場	瞬
中泉	唯人	原田	成美
森戸	裕稀	浅野	琉理
秋山	幸輝	諏佐和香	菜

私たちは、平成4年に茨城県の中央に位置する小美玉市にて結成した創作和太鼓集団です。打ち手の気持ちを乗せた魅力あふれる太鼓を目指し、30周年を迎えました。現在の打ち手約35名は、年長児～70代まで幅が広く、オリジナル曲を中心に県内・県外での演奏活動や和太鼓コンサートをしています。またこの活動のほか和太鼓ワークショップの定期開催など太鼓文化の普及にも精力的に努めています。本日の演奏では、演奏曲「凄打」の名のとおり、太鼓に向き合い、一生懸命に打ち込みたいと思いますので応援よろしくお願いいたします。

◆◆HP・Facebook・Instagramにて更新中です。◆◆

「みのり太鼓」「創作和太鼓集団みのり太鼓」で検索をお願いします。

16 ひろしまぶんきょうだいがく わだいこぶ ぶんきょうたい こじん 広島文教大学 和太鼓部「文教太鼓 仁」 広島県



演奏曲
きずな じん
絆～仁バージョン～

代表者：小田 涼

出本 千尋／中西 音寧
西田 京介／中島 律輝
日野亜有子／三木 優奈
宮本 芹華／曾我部光世
彦坂 茉友／佐藤洸太郎
三浦菜々美／西元 恒生
橋本 玲／小西 礼華
平林 正光／赤石有紀乃
青木 陽仁

広島文教大学和太鼓部「文教太鼓 仁」です。

広島文教大学は、4年前に共学となり、女子チームから新たに男女混成チームとして生まれ変わりました。チームモットーを「雲外蒼天～一打に魂を込めて～」と定め、18名の部員で音のみならず、心を重ね合わせた演奏ができることを目指して日々の稽古に取り組んでいます。

平素は、広島県・広島市主催のイベント、地元地域や福祉施設のイベントに出演させて頂いております。コロナ禍でなかなかご披露させていただくことができておりませんでした。少しずつ取り戻し活動し始めています。コロナ禍や暗いニュースでなかなか晴れませんが、私たちのチームモットーでもある「雲外蒼天」という言葉を信じて、皆様で手を取り合い、頑張っていきたいと思います。大学入学後初めて和太鼓を打つメンバーがほとんどですが、時間を有効に使い、仲間同士で切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。その中で生まれた、私たちの太鼓の音の絆と心の絆を「絆～仁バージョン～」で感じていただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

17 し か ほう ねん りき たい こ ほ ぞん かい 志賀豊年力太鼓保存会 石川県



演奏曲
せいちょうほうねんりきたい こ
正調豊年力太鼓

代表者：篠原 裕幸

山本 雷太／谷内 重幸
河野 利明／舟山 紳也
中泉 貴臣／濱田 弘樹
山本 桂嗣／堤谷 聖毅
谷内 隆太／岡崎 武留
谷内 直樹／篠原 裕幸
八十田 寿／谷口 衛

日本海に突き出し、荒波にもまれる能登半島。

その中ほど西能登百浦の地に、太古の昔筑前の国志賀の島から安曇族が何隻もの小舟に乗って、漂流してきました。彼らは無事を喜び、また遠く離れた故郷を偲び、太鼓を打ち鳴らしたのです。やがてそれは新しい土地での五穀豊穡、大漁を祈願して神事の際に欠かせないものとなり、その力強い太鼓の響きや勇壮な姿に心を動かされた神は、天の恵みを与えることを約束されたといひます。それ以降、この太鼓は「豊年力太鼓」と名付けられ、今日に至っています。

18 やま と たい こ ほ ぞん かい 大和太鼓保存会

佐賀県



演奏曲

りょううん やま と こ ぐくほうじょう
凌雲 / 大和のかほり / 五穀豊穰

代表者：野方 嘉孝

今泉 諒大 / 松崎 光遥

藤田 雅章 / 天野さくら

天野 なつ / 山崎勇一郎

菊池 輝

平成元年大和町街おこし事業の一環として結成されました。
代々受け継がれる郷土芸能として取り組み、地域の祭りごとを中心に活動しています。
今回は地域に暮らす人々の力強さ又、自然の恵み、その自然に対する感謝の演奏をします。

19 おお はる たい こ ほ ぞん かい 大治太鼓保存会

愛知県



演奏曲

しん ぐる ま しゅんしゅん
神来舞 / 駿々

代表者：若山 善之

若山 善男 / 若山 和之

近藤 重美 / 所澤 真

吉田健太郎 / 所澤沙千代

鈴木ななみ / 西村 陽介

江戸時代より尾張地方の農村地帯では、祭礼時に五穀豊穰と住民の安全を願い、太鼓を打ち鳴らす風習がありました。
戦争・伊勢湾台風等によって一時途絶えたものの、町内各地では細々と神楽太鼓が伝承されていました。その後、昭和56年大治町の郷土民俗芸能として普及、保存を図るため太鼓教室を開催。

そして、ふるさと創生事業の一環として町独自の芸能を育成する気運が高まり、平成3年にふるさとづくり実行委員会より、大治町のオリジナル曲の創作を「小林正道」氏に依頼。「尾張の風まつり」が完成しました。

この翌年9月に「大治太鼓保存会」として発足し、尾張の伝統芸能保存と和太鼓技術向上の為、日々稽古に励んでいます。

20 台湾源流打々

台湾



演奏曲

たいわん
台湾

代表者：王 妙涓

呂 學 韋 / 陳 力 愷
白 峻 毓 / 蔣 秉 翹
鄭 榮 珂 / 單 婉 瑄

2007年の創立から15年目を迎える台湾太鼓協会。大澤理事長をはじめ、財団の皆様大変お世話になっております。創立当初より会長である長谷川義先生には、熱心にご指導いただいております。現在、26団体約2,800会員が太鼓を響かせています。

太鼓を通じて日本と台湾の交流が盛んに行われています。協会では現在も日本太鼓を台湾の中で広めています。

昨年これまでの活動実績が認められ、日本の外務省より外務大臣表彰を頂きました。これからも引き続き活動を行い、国際的に発信していきたいと考えております。

2017年の協会創立10周年にはジュニアを卒業した若者を中心に選抜して台湾打々を結成しました。台湾代表として活動し始め、愛知、奈良、大分県で開催された国民文化祭にも出演、今回6名の代表が出演させていただきます。演奏曲は長谷川先生が作曲された「台湾」です。“和太鼓”という日本文化を通して、日台の友好を深めたいと願いながら魂を込めて演奏します。

21 名護桜太鼓

沖縄県



演奏曲

みおんばな
実音華 / ウチナーハリケーン

代表者：金城 一文

岸本 由佳 / 金城 一暁
宮城 実咲 / 天久 寿奈
比嘉 太造 / 仲里 舞夢
金城 一晟 / 嶋袋 魁
饒平名恵幸都 / 嶋袋 天斗
大城 煌華

名護桜太鼓は、名護市の特色ある町づくりに関心の深いメンバーが相集い、自力で38年前に創設したもので、名護市の特色ある文化の一つです。練習会場は、名護市民会館で毎週火曜日に行っていて太鼓を通して青少年健全育成を基本とし、幼・小・中・高・青少年男女が一体となって、市内外の各種イベントや老人ホームへの慰問など年間約70本あまりのイベントに出演し、会員は全員ボランティアで名護市の活力ある町づくりに、情熱を持って活動しております。

22 橘太鼓「響座」

ゲスト団体
宮崎県



演奏曲

あっせんぶる ひむかわかしゅう

assenble/日向若衆

代表者：岩切 響一

岩切 邦光／今村 脩哉

吉野 真吾／津郷 良執

山床 海／山床 風

黒木 優成／田伏 慧多

吉岡めぐみ／本多 澄海

後藤 瞭来

橘太鼓「響座」は、宮崎の自然や歴史・文化・人の心を音に託し、その新しい歴史を築き上げようと、1991年に結成された創作太鼓チームです。

代表曲である「日向若衆」は、宮崎県えびの市に古くから伝わる田の神さあ（神様）の祭りを表したものです。田の神さあは、冬は山の神となり、春は里において田の神となり豊作をもたらすとされていて、農民たちは年に一度「田の神さあ祭り」で豊作を願い、様々な色の衣装を身に着けて賑やかな祭りを行います。

ジュニアチームは響座の岩切響一氏の指導を受け、2020年度日本太鼓ジュニアコンクールで優勝を果たしました。

23 御諏訪太鼓保存会

ゲスト団体
長野県



演奏曲

す わ いかづち
諏訪雷

代表者：古屋 邦夫

菅原加代子／高林 英彦

矢ヶ崎勇健／菅原 直也

菅原 麻友／松枝 明美

御諏訪太鼓は、諏訪大社の神楽の鼓舞楽を伝承する無形文化財であり、長野県諏訪地方を代表する郷土芸能です。その起源は戦国大名・武田信玄の陣太鼓とされ、御諏訪太鼓の名もそこから取られています。陣太鼓から神楽太鼓となり、そして太平洋戦争を経て一度は廃れかけましたが、日本太鼓財団設立の中心人物である小口大八氏によって1951年に譜面が復元され、ジャズドラマーでもあった小口氏のアイデアにより、複式複打の組太鼓である新生・御諏訪太鼓が誕生しました。

現在の創作太鼓の基本形は、この時に生み出されたものです。

普及期にあったテレビへの出演や各地での演奏などの活動をおこない、日本中で影響を受けた創作太鼓チームが誕生し、小口氏と御諏訪太鼓はその多くを指導し育てました。また1964年東京オリンピック、1998年長野オリンピックなどでの演奏により、和太鼓の存在を世界に伝えました。

24 わ だい こ 和太鼓たぎり

ゲスト団体
福岡県



演奏曲

た ぎり
泌 泉

代表者：植田 美紀

白本 鈴乃／長副 萌
黒土 陸斗／中山 愛咲
森山美沙姫／河端 悠莉
浦川 大翔／奥畑 彩音
二場 優月

和太鼓たぎりは泉湧く泌泉の里 糸田町に地域の伝統文化の伝承及び普及、地域の活性化を願い結成されました。糸田町には名前の由来となる「泌泉の坪」があり歴史的にも豊日別命や神功皇后などにまつわる伝説が今も数多く残っています。

和太鼓たぎりとはこの泌泉の坪から脈々と湧き出る清らかで且つ勢いに満ち溢れる水源のようにありたいと願い命名いたしました。

和太鼓たぎりは、2022年3月20日富山県富山市で開催された「第24回日本太鼓ジュニアコンクール」（予選参加256団体、2,319名）で、2017・2019年に続いて、見事3回目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞いたしました。

25 ご じん じょ だい こ ほ ぞん かい 御陣乗太鼓保存会

ゲスト団体
石川県



演奏曲

ご じん じょ だい こ
御陣乗太鼓

代表者：北岡 周治

槌谷 博之／江尻 一希
中村 孝一／麻窪 光温
浜高 元一

天正4（1576）年、越後の上杉謙信は難攻不落とされた能登の七尾城攻略に成功し、その余勢をかって奥能登の平定を進め、翌年に上杉軍は名舟村（現在の石川県輪島市名舟町）へ押し寄せました。武器らしいものを持たない村人たちは古老の指図に従い、樹の皮の仮面を作り海藻を頭髮とした扮装で、陣太鼓を打ち鳴らしながら寝静まる上杉勢に夜襲をかけました。大音響を伴った怪物の突然の襲来に上杉勢は驚愕し、戦わずして退散したと伝えられ、これが御陣乗太鼓の起源とされています。

始めはゆっくりと、次いでやや早く、最後は最も早く打ち切るという序・破・急の三段で打ち、これを何回も繰り返します。その間、打ち手は自由な形で見得を切り、面に応じた身振り、身のこなしなど個性的な芸を入れます。

御陣乗太鼓は石川県と輪島市の無形文化財に指定されています。

26 とよ くに げん りゅう だい こ ゲスト団体
豊の国ゆふいん源流太鼓 大分県



演奏曲

ゆ ふ げんきょう てんちげんりゅう
由布おろし / 源響 / 天地源流

代表者：長谷川 義

長谷川 準 / 冨永 希一

恵藤 良太 / 小出 翔五

藤田さくら / 阿南 晴大

長谷川義氏を中心に1979年に発足した豊の国ゆふいん源流太鼓は、派手なパフォーマンスは一切なく、ただひたすら打ち抜くスタイルを結成以来、守り続けています。その根本は、由布の町を見下ろす峠の空き地での、星を見ながらの毎夜毎夜の練習にあり、それは現在まで続けられています。

そこから生み出された打法とリズムは現在の創作太鼓メインストリームの「源流」となっていて、日本の和太鼓チームの憧れであり目標でもあり、ノンプロ創作太鼓チームの頂点と言えます。代表の長谷川氏による大太鼓はプロの太鼓打ちが一目置くと言われ、氏は2021年度日本太鼓シニアコンクールで優勝し、名人位、内閣総理大臣杯を獲得しました。メンバーはそれぞれ本業や学業を持ちつつ鍛錬を重ね、国内外を問わず和太鼓の浸透と発展に努めています。

「天に碧空、地に源流」。

豊の国ゆふいん源流太鼓は大分県由布市の無形文化財に指定されています。

公益財団法人 日本太鼓財団 2022年度の主な事業活動予定

■ 日本太鼓ジャンボリー 2022

期 日：2022年4月26日(火)
場 所：国立劇場大劇場(東京都千代田区)
主 管：関八州太鼓連合／日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

■ 第7回大学太鼓フェスティバル

期 日：2022年8月26日(金)
場 所：江戸川区総合文化センター(東京都江戸川区)
共 催：大学太鼓連盟
主 管：関八州太鼓連合／日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

■ 第24回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2022年10月23日(日)
場 所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団静岡県支部
出場団体：18団体

■ 第6回浅草太鼓祭

期 日：2022年11月3日(木・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合／日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

■ 第19回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2022年11月20日(日)
場 所：こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団／公益社団法人 石川県太鼓連盟／
一般財団法人 石川県芸術文化協会／北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部／北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■ 第25回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2023年3月19日(日)
場 所：金沢歌劇座(石川県金沢市)
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：50団体程度

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年 4月 1日

＜資 産＞ 基本財産 3億円

＜加盟支部数＞ 47支部(43都道府県)

＜加盟団体数＞ 約670団体

＜会 員 総 数＞ 約18,000人

＜理 事＞ 会 長 長谷川 義 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉最高顧問

理事長 大澤 和彦 常 勤

副会長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表

常務理事 佐々城 清 常 勤

理 事 浅野 昭利 (一財)浅野太鼓文化研究所理事長

理 事 石井 幹子 (株)石井幹子デザイン事務所代表取締役社長

理 事 中西 由郎 元(一財)日本モーターボート競走会監事

理 事 山内 強嗣 (福)富岳会理事長

＜評 議 員＞ 評議員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長

評議員 岡田 知之 前(公社)日本吹奏楽指導者協会会長

評議員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長

評議員 佐藤 淳子 元(一財)ライフ・プランニング・センター理事

評議員 高島 肇久 (学)津田塾大学理事

評議員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長

評議員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

評議員 渡辺 洋一 太鼓集団天邪鬼代表・関八州太鼓連合会長

＜監 事＞ 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

監 事 竹村 葉子 弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(五十音順・敬称略)



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp